



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2018.6

No. 411

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 2018年冬 カモ科カウント調査結果

## 日本野鳥の会埼玉 調査部

今回の調査は2018年1月6日～1月14日の間に、県内64カ所(右ページ)で行われました。この調査で20種(ハクチョウ科2種、カモ科18種)、総個体数11,022羽(今年の1.15倍)が記録されました(下の表)。今シーズンは、各地でカモが少ない、という声が聞かれていましたが、調べてみれば種類数も総個体数も昨年を上回っていました。

珍しい記録はアメリカヒドリ、アカハジロです。アメリカヒドリは新河岸川(川崎橋～第二新河岸橋)、武蔵丘陵森林公園(山田大沼)の2カ所でそれぞれ♂1羽が記録されました。加須はなさき公園では昨年に引き続きヒドリガモとアメリカヒドリの交雑個体が1羽記録されました(ヒドリガモとしてカウントしました)。アカハジロは彩湖で♂1羽が記録されました。

飛来数が3桁以上の種はいずれも昨年と同程度あるいは増加し、大きく減少した種はありませんでした。ホシハジロは今年の2.5倍に増えていました。

観察地点について特筆すべきは、ソーラー発電パネルが設置された赤堀遊水池(桶川市)です。これまでも設置の影響は見られていなかったのですが、今年は設置前を上回る個体数が記録されました。一方、パネルが設置されたばかりの県立農林公園・芳沼では昨年に比べて個体数が5分の1まで減少しました。

ソーラー発電パネルのカモ類への影響は、今後も注視する必要があります。

カワウは34カ所で403羽が記録されました。昨年の392羽から微増しました。カワウが多かった上位3カ所は彩湖(91羽)、久喜菖蒲公園・昭和沼(53羽)、伊佐沼(40羽)でした。昨年、激減した武蔵丘陵森林公園(山田大沼)は相変わらず少ない状態が続いています。

今回の調査は50名の方にご協力いただきました。厳しい寒さの中での調査、お疲れさまでした。心より御礼申し上げます。今後とも、ご協力よろしくお願い申し上げます。

(調査部 小林みどり)

<調査協力者>(敬称略) 相原修一、相原友江、浅見健一、浅見徹、新井巖、石井智、石川敏男、石塚敬二郎、伊藤芳晴、今村富士子、榎本秀和、海老原教子、大井智弘、大坂幸男、大塚純子、河辺典子、工藤洋三、小荷田行男、小林ますみ、小林茂、小林みどり、駒崎政雄、佐久間博文、佐野和宏、佐藤宏、鈴木秀治、中間清美、田邊八州雄、千島康幸、手塚正義、長嶋宏之、長野誠治、中村治、中村豊己、野口修、長谷部謙二、畠山孝、菱沼一充、菱沼洋子、藤掛保司、藤掛宮子、藤澤洋子、藤澤哲郎、藤原寛治、茂木幸蔵、森本國夫、森本陽子、山部直喜、吉原俊雄、吉原早苗

前回の比較	コハクチョウ	オオハクチョウ	オシドリ	オカヨシガモ	ヨシガモ	ヒドリガモ	アメリカヒドリ	マガモ	カルガモ	ハシビロガモ	オナガガモ	トモエガモ	コガモ	ホシハジロ	アカハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	カモ不明種	カモ科個体数	カモ科種類数	カワウ
2018年種類別総計	177	3	80	89	57	1482	2	2442	2561	87	423	6	2425	476	1	643	3	26	15	4	20	<b>11022</b>	20	403
2017年種類別総計	127	0	0	92	43	1383	4	2315	1781	138	419	3	2302	190	0	711	2	53	27	4	6	<b>9600</b>		392
増減比(2018/2017)	1.39	/	/	0.97	1.33	1.07	0.50	1.05	1.44	0.63	1.01	2.00	1.05	2.51	/	0.90	1.50	0.49	0.56	1.00	3.33	<b>1.15</b>		1.03

No.	調査地(河川・湖沼等)	コ ハク チ ョウ	オ ハク チ ョウ	オ ン ド リ	オ カ ヨ シ ガ モ	ヨ シ ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	ハ シ ビ ロ ガ モ	オ ナ ガ ガ モ	ト モ エ ガ モ	コ ガ モ	ホ シ ハ ジ ロ	ア カ ハ ジ ロ	キ ン ク ロ ハ ジ ロ	ス ズ ガ モ	ホ オ ジ ロ ガ モ	ミ コ ア イ サ	カ ワ ア イ サ	カ モ 不 明 種	カ モ 科 個 体 数	カ モ 科 種 類 数	前 年 度 個 体 数	前 年 度 種 数	前 年 度 増 減	カ ワ ウ	
1	入間川				3				25	8				13									49	4	42	3	1.17	1	
2	越辺川		88		2				30	43		71	38										272	6	353	7	0.77	14	
3										14					4		5						23	3	20	3	1.15	5	
4					11	16	1		10	27	20	5		60	343	1	362	3	2				861	13	426	9	2.01	91	
5										14	25			42			1						82	4	252	6	0.33	2	
6	荒川		14						30	220				110							1		375	5	32	2	11.72	2	
7			75						3	12													90	3	48	1	1.88	1	
8									15	19		14	70										118	4	0				
9				80					10			36	14				10						150	5	0				
10	鴨川									4				13									17	2	140	3	0.12		
11									39	39				17									95	3	197	3	0.48	1	
12									37	68	1			103									209	4	42	2	4.98		
13	元荒川							56		5													61	2	63	3	0.97		
14							44		8	92				75									219	4	235	4	0.93	2	
15																							19	1	35	1	0.54		
16	古利根川							25	9	2				17									53	4	24	2	2.21		
17								149	23	123		1	54										350	5	61	3	5.74		
18	利根川													249							17		266	2	178	9	1.49	21	
19	新河岸川			4	2	262		8	91				1	125									493	7	465	8	1.06	2	
20							95	1	35	15				13									159	5	350	8	0.45	2	
21	柳瀬川						99	2	2					55									158	4	217	4	0.75	1	
22							25			17	2			4									48	4	37	4	1.30	5	
23					42	11	28			59				88									228	5	181	7	1.26	23	
24																							0	0	2	2	0.00		
25	芝川								1	11				8									20	3	11	1	1.82	1	
26									4	68	1			47									120	4	68	4	1.76		
27			3	7					11	16	4			5	38		57		1	7		20	169	10	96	6	1.76	34	
28					7				7	9			24	3	25	5	8						81	7	0				
29							132		4	40		6	7	38		103							330	7	121	4	2.73	2	
30	加田屋川								5	77	2			26									110	4	4	3	27.50		
31																							0	0	23	1	0.00		
32	見沼代用水・東縁										11												11	1	8	1	1.38		
33											3			11									14	2	0	0			
34											1												1	1	0	0			
35	見沼代用水・西縁																						0	0	15	1	0.00		
36																							0	0	9	1	0.00		
37											2												2	1	11	1	0.18		
38	綾瀬川						31		9	80				6									126	4	103	4	1.22	1	
39	秋ヶ瀬公園の池																						0	0	22	3	0.00		
40	狭山湖								76	8				2	5		8				3		108	7	75	5	1.44		
41	川越水上公園の池						75			87				27							1		190	4	139	4	1.37		
42	小畔水鳥の郷公園・御伊勢塚公園								17	9	54			57									137	4	59	5	2.32	19	
43	伊佐沼								15		74			131			2						223	5	411	5	0.54	40	
44	武蔵丘陵森林公園の池(山田大沼)						2	242	17	2		3	173	2		1							442	8	368	6	1.20	12	
45	大沼(吉見町)						8	1	164	80				4	17		3						277	7	104	6	2.66	5	
46	八丁湖								183	35		8	2	4		16							248	6	128	5	1.94		
47	大沼公園・大沼(熊谷市)				16				29		88		33										166	4	15	4	11.07		
48	県立農林公園・芳沼						1		63	3				78	2	16							163	6	572	7	0.28	5	
49	久喜墓園公園・昭和沼			1	21	82			341	212	1	74	1	18	3		23						777	11	766	8	1.01	53	
50	行田浄水場			6	2	58			307	127	1			111	4		24						640	9	1061	9	0.60	3	
51	白檜沼								2														2	1	3	2	0.67		
52	見沼自然公園				6				36		52		55	1	30								180	6	156	5	1.15	1	
53	大宮公園													28									31	3	35	4	0.89	1	
54	大宮第三公園									7	8			48	1								64	4	18	2	3.56		
55	深作遊水池								30			8		7									45	3	26	4	1.73	1	
56	そうか公園の池						74				20	11	32										139	5	190	6	0.73		
57	大相模調節池(レイクタウン湖)													13									13	1	24	2	0.54	12	
58	大吉調節池																						0	0	61	6	0.00		
59	緑の丘公園の池				2					97	60			37	8						3		207	3	506	7	0.41		
60	吉見町のため池群								78	86	1			50	2								217	5	339	4	0.64	21	
61	加須はなさき公園の池							71			105												176	2	172	3	1.02	2	
62	羽生水郷公園								81	285				96									464	4	0	0		5	
63	谷田川																						0	0	0	0			
64	赤坂遊水池				3	71			453	11		2	194										734	6	484	6	1.52	12	

# 2018年春 シギ・チドリ類 調査報告

日本野鳥の会埼玉 調査部

日 時：2018年4月29日 9:40～11:25  
 場 所：さいたま市 大久保農耕地  
 天 候：快晴



高気圧が日本の東にあって、東日本を覆っていたため快晴となり、調査には絶好の日となりました。また、連休中にもかかわらず、20名もの協力が得られました。ありがとうございました。

今年は田の作業が遅く、田植えをしている所もありましたが、まだ代掻きが終わっていない所も半分近くありました。シギ・チドリ類を調査するにはあまりよい条件とはいえ、全体の種数、個体数は2種16羽にとどまりました。

昨年と比較すると、種数で3種、個体数で58羽少なくなりました。これはムナグロが観察されなかったことが大きな原因です。最近の5年間を見ると、ムナグロが4回も観察さ

れませんでした。対岸（荒川右岸）の志木市宗岡では同時期にムナグロが観察されているので、何らかの条件が悪くなってきたのかもかもしれません。

表は春の調査結果のうち、最近の10年間をまとめたものです。それ以前の記録は『しらこぼと』2012年6月号（No.338）をご覧ください。

※タシギ属不明種は種数に入れませんでした。（石井 智）

## 春のカウント結果（大久保農耕地）

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
調 査 日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29
天 候	快晴	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	快晴
1 ケリ			1							
2 ムナグロ	337	5	7	45	211				64	
3 コチドリ	7	4	3	9	11	10	5	6	6	7
4 セイタカシギ							1			
5 チュウジシギ			1							
6 タシギ	2	1		1	8	2		9	2	6
7 チュウシャクシギ	13		8		2	1	2	4	1	
8 タカアシギ	4		1		1				1	
9 オジロトウネン					1					
10 タマシギ					2					
タシギ属不明種		1					2	1		3
合 計	363	11	21	55	236	13	10	20	74	16



## 野鳥情報

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇2月3日、テストコースでアオジが多い。ルリビタキ♂1羽、道路に出てくる。アトリ3羽、地面で枯葉をひっくり返して採餌。アリスイ1羽、飛んで来て枝にとまる（下写真）。



オオタカ1羽が飛んでいたが、その内、別の1羽が追いかけるように近づき、2羽で飛び去る。他にメジロ、エナガ、カケス、シメ、カワセミ、アカゲラ、コゲラ、ツグミなど（藤原寛治）。◇2月15日、キジ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、カイツブリ、オオバン、アオサギ、カワウ、セグロカモメ、タシギ、クサシギ、イカルチドリ、カワセミ、アオゲラ♂、アカゲラ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ウグイス、ツグミ、シロハラ、アカハラ、シメ、アオジ、ホオジロ、カシラダカ、ジョウビタキなど（鈴木紀雄）。◇3月8日、アカゲラ、アオゲラ、ルリビタキ、シメ、ホオジロ、シジュウカラ、シロハラ、ウグイス、アオジ、カワラヒワ、カケス、イソシギ、コガモ、オオバン、カルガモ、モズ、キジ、ツグミ。まだまだ冬鳥も残っている。4月3日、元荒川の砂地にケリ1羽が鳴きながら飛来。ここで確認したのは初めて（内田克二）。

**さいたま市緑区上野田** ◇2月15日、小さな水路でタシギ3羽、コサギ1羽。クワイ田でここでは珍しいケリ2羽。耕作地ではタゲリ2羽、ノスリ1羽、カシラダカの小群（鈴木紀雄）。

**さいたま市見沼区藤子** ◇2月15日、電柱上

と屋敷林にノスリ各1羽。この冬、ノスリを見ることが多い。2月26日、タゲリ3羽、越冬中。ノスリ1羽、ハシボソガラス約100羽の群れ（鈴木紀雄）。

**蓮田市笹山** ◇2月15日、ハシボソガラス約20羽の群れ中にミヤマガラス1羽。2月27日、ハシボソガラス約50羽の群れの中にミヤマガラス6羽。ホオアカ1羽、電線にカワラヒワ200羽、ムクドリ、ツグミ、ヒバリ、タヒバリなど（鈴木紀雄）。

**蓮田市黒浜** ◇2月15日、突然、オオタカ♂成鳥、飛び込んで来て、あっという間にヒヨドリらしきをつかんでいた。すぐにハシボソガラス4羽が集まってくるも、オオタカ意に介さず。2月24日、ノスリ1羽、コガモ、カイツブリ、タシギ、オオジュリン、ホオジロ、アオジ、カシラダカ。アリスイ3ヶ所で鳴く。クイナも2ヶ所で声。ベニマシコ♂1羽♀5羽。上空にセグロカモメ。2月27日、キジ♀2羽。アリスイ1羽確認。さらに3ヶ所で声。ヨシの中のクイナが白い下尾筒をピクピクさせながら歩く。ベニマシコ♂若鳥1羽♀2羽、カケスの声（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区上野5丁目** ◇2月27日、久々にシラコバト1羽確認（鈴木紀雄）。

**八潮市中川子どもの水辺(53395687)** ◇3月3日午前10時～11時、オオバン11羽、ヒドリガモ8羽が中川を泳いでいた。当日は川の水位も高く、気温も高い穏やかな日だった（高野 智）。

**蓮田市西城沼公園** ◇3月5日、ヒヨドリが梅の花びらを啄んでいた。ヒヨドリ6羽がコブシの花芽を啄んでいた。ハシブトガラスが針金ハンガーをくわえて飛んで行った。他にエナガ2羽、ツグミ3羽。3月6日、カケス6羽がナラ林で採餌。ウグイスが囀った。ヤマガラ1羽。シロハラ2羽が林床で採餌。3月19日、シメ1羽が梢にいて、動かなかった。シロハラ1羽、林床で採餌。ツグミ1羽、芝生で採餌。3月27日、カラス6羽が高く輪を描いて飛んでいた。シジュウカラが一際大きな声で囀っていた。ムクドリの嘴が黄色く綺麗になってきた。他

にカルガモ13羽、コサギ1羽、モズ1羽、メジロ声、ツグミ2羽、ハクセキレイ1羽。  
3月30日、オナガ1羽、コゲラ1羽（長嶋宏之）。

**さいたま市桜区秋ヶ瀬公園** ◇3月6日、子供の森でヒレンジャク3羽、ハイタカ、コゲラ♂、頭の赤がよく見えた。ピクニックの森でベニマシコ♂3羽♀4羽など（鈴木紀雄）。

**川越市～ふじみ野市** ◇3月8日朝、新河岸川の養老橋の下から出たヒドリガモの群れにアメリカヒドリがいた（ブリングマン・ウィリアム）。

**熊谷市大麻生(54391278)** ◇3月13日午前9時頃、野鳥の森にてヒレンジャク20羽＋。水場にてクロジ♂1羽。（榎本秀和）。

**熊谷市大麻生公園野鳥の森** ◇3月13日、ヒレンジャク20羽±。ガビチョウ3羽が道路に出来た水溜りで、入れ代わり立ち代わり水浴び。マヒワ5羽が水飲みに出てきた。他にアオジ、カシラダカ、ホオジロ、シメ、ヤマガラ、エナガ、ジョウビタキなど（長嶋宏之）。

**さいたま市中央区八王子5丁目** ◇3月14日、かやのき団地8号棟庭のケヤキでツミ♀1羽、5～6回立て続けに鳴く（大塚純子）。

**行田市利根大堰(54392327)** ◇3月18日午前9時過ぎ、ツバメ1羽飛ぶ。今季初認（榎本秀和）

**久喜市久喜菖蒲公園** ◇3月18日、カンムリカイツブリ夏羽1羽、換羽中3羽。アオサギ2羽が浮島で抱卵中。セグロカモメ1羽が上空を旋回。他にヨシガモ、コガモ、キンクロハジロ、コサギ、オオバン、バンなど（長嶋宏之）。

**幸手市中川河川敷(54390691、54390690)**◇3月19日、カルガモ14羽、コガモ♂7羽♀4羽、カワウ2羽、ダイサギ3羽、オオバン2羽、セグロカモメ1羽、チョウゲンボウ1羽、シジュウカラ3羽、ヒバリ1羽、ツグミ3羽、ハクセキレイ4羽、セグロセキレイ1羽、シメ2羽など（荒川貴之）。

**白岡市柴山沼(54390449)**◇3月25日午後1時51分、ツバメ2羽確認。他にオオバ

ン、カイツブリ、カルガモ、カワウ、スズメ、ヒバリ、オオジュリン、チョウゲンボウ（鳴き声）、ホシハジロ、コサギ、ダイサギ（荒川貴之）。

**吉川市運動公園(53396678)** ◇3月29日午後2時23分、ツバメ初認。2羽が運動公園上空を東から西に飛ぶ（高野 智）。

**熊谷市中央1丁目** ◇3月31日午前6時30分頃、西小学校東側上空でハヤブサ2羽、「キッキッ」と鳴き交わしながら北西方向に飛んで行った。とそれに絡むツミが！ 朝からいい場面を見られました（大畑祐二）。

**久喜市菖蒲町下栢間** ◇4月2日午後2時、ツバメ2羽、自宅近くで滑空する。今季初認（小貫正徳）。

**鴻巣市大間一丁目** ◇4月5日午後2時50分頃、淡色系のハチクマ1羽が上空に出現。北西方向へ飛び去る（榎本秀和）。

**春日部市武里中野** ◇4月8日午前6時50分～7時30分、谷原親水広場とその周辺の農業排水路（前堀落し）の枯れヨシの中で羽繕いするホオアカ2羽。ホオアカのいた地点より下流、前堀落し左岸脇の畔上にオオタカ幼鳥1羽がじっと佇んでいた。体羽が白く亜種シロオオタカの可能性は？（下写真）。



谷原親水広場東側の枝垂れ桜の樹冠に1羽のコムドリがとまっていたが、すぐに北へ去った。春の渡りの途中だろう。今季初認。谷原親水広場内の水辺でタシギ1羽に遭遇。当方を警戒してじっと動かず（石川敏男）。

#### 表紙の写真

ペリカン目サギ科ヨシゴイ属ヨシゴイ

毎年同じ場所に律義に来てくれるヨシゴイさんです。今年もお待ちしています。

田圃歩人(さいたま市)



## 行事案内



ツバメ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費：**中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

**持ち物：**筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻：**特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月3日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、千葉、飛田、内藤、永野、村上、吉原(早)

見どころ：葉が茂り、鳥の姿が見にくくなる季節です。こんな時季こそ鳥の鳴き声を楽しみましょう。ここ石戸宿での聴きどころは、ホトトギスとオオヨシキリ。キビタキだって、まださえずっているかも知れません。今年は、サンコウチョウも鳴いてくれるかな。鳴き声を予習して参加すれば、楽しさ倍増です。ネットで鳥の種名と「鳴き声」をキーワードに検索すれば、たいいていの鳴き声を聞くことができます。

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：6月3日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、伊藤、大井、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：冬鳥シーズンに比べて種類は少なくなりますが、調節池周辺は子育てで大に

ぎわいです。アオサギ・カワウ・オオバン等々、「留鳥」の鳥たちをじっくり観察しましょう。

ご注意：①コースの途中にトイレはありません。②天候によってはコースを変更・短縮することがあります。

### 羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：6月8日(金) 平日

集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。

交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢崎線・羽生駅東口 8:04 発→南羽生駅 8:21 発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車。

共催：羽生水郷公園管理事務所

担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木

見どころ：沼の水面近くでアオサギ、芝生広場では多数のヒバリが子育て中です。ここ数年観察されないコアジサシやコチドリはやって来るのでしょうか。

注意：帰りのバスは 14:50 発です。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月10日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:09 発、または寄居 8:50 発に乗車。

担当：新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：多くの夏鳥、漂鳥が涼しい高地へ行ってしまった大麻生で、健気に子育てし

ている鳥たちに挨拶に行きましょう。オオヨシキリ、ホトトギスに会えるかな？

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：6月16日（土）午後3時～4時ころ  
会場：会事務局 108 号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：6月17日（日）  
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。  
交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから8:23発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。  
後援：さいたま市立浦和博物館  
担当：青木、浅見（徹）、楠見、小菅、小林（み）、新部、畠山、増田  
見どころ：この時期しか見ることでできない小鳥達の親子を探したいと思います。勿論カルガモ親子も！ただ、梅雨まっさかりなので天気心配です。

### 日本野鳥の会埼玉 総会のご案内

日時：6月24日（日）  
午後1時00分 受付開始  
午後1時30分～2時20分 記念講演  
午後2時30分～4時00分 総会  
会場：埼玉会館（さいたま市浦和区高砂3-1-4）7階7B会議室  
交通：JR 京浜東北線浦和駅西口から県庁通りを西へ徒歩6分、右側。通り沿いの階段を通り過ぎ、少し下がった位置の車寄せにある入口からお入りください。  
記念講演：本部常務理事上原健氏による「(仮題) 財団の活動と支部との連携について」。



昨年6月25日の総会

議題：平成29年度事業報告と決算報告、平成30年度事業計画案と予算案、平成30年度役員の選出。

参加資格：埼玉会員であればどなたでも。

前年度の活動を振り返り、新年度の予算や方針を決める大切な総会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 2017年 鳥見ランキング 1位になりました！ 浅見 徹（さいたま市）

雌伏十余年、ようやく鳥見ランキング第1位になりました。

2002年から、「埼玉県内鳥見ランキング」として始まったこのイベント、私が参加し始めたのは2006年からでした。以来、毎年応募するものの10位以下の成績が続き、何時からか「参加することに意義がある」と諦めの境地になり、さらにここ数年は応募自体も止めてしまいました。2016年12月に自由の身になったのを機に、鳥見ランキングに再挑戦し、1位の座を獲得した次第です。

ところが、このイベントは今年で一旦休止されることになりました。やっと1位になれたのに、とても残念です。このイベントの復活を願いつつ、過去の結果を振り返って一覽表にしてみました。結果の詳細については『しらこぼと』バックナンバーをご覧ください。支部HPで閲覧可能です。

年間鳥見ランキング1位 結果一覽

回	年	鳥種数	結果掲載『しらこぼと』
1	2002	141	2003年5月号, No.229
2	2003	148	2004年5月号, No.241
3	2004	147	2005年6月号, No.254
4	2005	154	2006年4月号, No.264
5	2006	158	2007年4月号, No.276
6	2007	172	2008年4月号, No.288
7	2008	161	2009年4月号, No.300
8	2009	167	2010年4月号, No.312
9	2010	171	2011年4月号, No.324
10	2011	155	2012年5月号, No.337
11	2012	171	2013年4月号, No.348
12	2013	176	2014年5月号, No.361
13	2014	151	2015年4月号, No.372
14	2015	152	2016年5月号, No.385
15	2016	148	2017年5月号, No.398
16	2017	※151	2018年5月号, No.410

※：2017年は、埼玉主催の県外探鳥会での記録を含む。





## 行事報告

12月7日(木) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 43名 天気: 晴

キジ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ トモエガモ コガモ キンクロハジロ ミコアイサ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ オオバン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ノスリ カワセミ コゲラ ハヤブサモズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (49種) 谷中湖のいつもの鉄塔のハヤブサ、休憩を終えて出発するころには戻ってきてくれた。湖に浮かぶ小島の上空ではチュウヒが8の字を描くかのような旋回を繰り返す。猛禽類が大サービスしてくれた。ベニマシコも谷中村跡のヨシ原で、姿をよく見せてくれた。(小林みどり)

12月9日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 59名 天気: 晴

カルガモ コガモ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イカルチドリ イソシギ ハイタカ オオタカ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ アカハラ ツグミ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ シメ アオジ (34種) (番外: ドバト) 鳥影が薄く、今まで観察できていたヒドリガモやスズメが確認できない。それでも村国池でカワセミがダイブして小魚を捕る姿や、元荒川ではイカルチドリや珍しいカンムリカイツブリが見られた。(長野誠治)

12月9日(土) さいたま市 岩槻文化公園 Beginner

参加: 15名 天気: 晴

カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ オオバン イカルチドリ カワセミ コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ アオジ (22種) (番外: ドバト) “晴れ”でもさすがに寒い…。そんな中お集まり頂いた皆様の中にはリピーターもちらほら。冬鳥の定番ジョウビタキ、シメ、そして最後の最後に欠かせないカワセミの登場で大盛り上がり。(石塚敬二郎)

12月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 46名 天気: 快晴

キジ キジバト トビ ハイタカ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (32種) (番外: ガビチョウ) 土手の上ではヒヨドリとモズ。ゴルフ場にはハクセキレイ、セグロセキレイ、そしてツグミの姿。林と藪ではカラ類の混群とカシラダカ、ルリビタキの鳴き声。シロハラ、アカゲラの姿も見えた。猛禽類も上空に現れた。(茂木幸蔵)

12月14日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加: 37名 天気: 晴

キジ ヒドリガモ カルガモ トモエガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン トビ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ (29種) 始まって間もなく、チョウゲンボウが頭上を飛び、一気に場が和んだ。青毛堀川でキジ雌が足元から飛び立ち、数回に及ぶカワセミの飛翔を全員が堪能。公園の池ではヒドリガモが間近で採餌。数人がトモエガモ♀を観察。植物園では冬鳥のシメ、ツグミに加え、メジロ、エナガの混群を愉しめた。(長嶋宏之)

12月16日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 51名 天気: 晴

マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ  
 コガモ ホシハジロ カイツブリ キジバト カ  
 ワウ アオサギ ダイサギ オオバン ツミ オ  
 オタカ ノスリ カワセミ コゲラ アオゲラ  
 モズ カケス ハシブトガラス コガラ ヤマガ  
 ラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ  
 メジロ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビ  
 タキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニ  
 マシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ  
 (40種) (番外：ガビチョウ) カモ類の少なさは  
 当地も同様。落葉した木立の中や枯葉の上に小鳥  
 類を探す事と、アオゲラを見つける事を主にした。  
 結果、カラ類3種、ヒタキ類4種、アトリ類3種  
 (含む：赤いお腹のベニマシコ)、ホオジロ類3種、  
 猛禽3種、狙いの場所でアオゲラ、カモ類は個体  
 数が少ないけれど6種、など40種を観察。探鳥会  
 終了後に沼の上空を数十羽のオナガガモの群れが  
 旋回、移動先が知りたい。(鈴木秀治)

12月16日(土) さいたま市 氷川神社  
 カラスの罅入り調査 ボランティア：14名

青木正俊、秋元不二雄、浅見徹、石塚敬二郎、石  
 塚真理子、海老原教子、岡部清美、尾上浩美、尾  
 上愛実、小林みどり、小峯昇、中川敏子、森本國  
 夫、森本陽子

12月16日(土) 戸田市 彩湖 Young  
 参加：31名 天気：晴

キジ オカヨシガモ マガモ カルガモ ハシビ  
 ロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ  
 ホオジロガモ カイツブリ カンムリカイツブリ  
 ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ  
 コサギ オオバン ヒメアマツバメ イカルチド  
 リ ユリカモメ セグロカモメ トビ ハイタカ  
 ノスリ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブ  
 トガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス  
 エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタ  
 キ スズメ ハクセキレイ タヒバリ アトリ  
 カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオ  
 ジ オオジュリン (46種) (番外：ドバト、ガビチ  
 ヨウ) 穏やかな冬晴れに恵まれ、東京支部との  
 共催で合計参加者73名と賑やかに開催した。ヨシ  
 原では真っ赤なベニマシコ、彩湖ではたくさん  
 のカモ類・カイツブリ類が出迎えてくれた。上空  
 にはヒメアマツバメが現れ、参加者の上をビュンビ

ュン飛んでくれ、みんなで大興奮だった。湖畔の  
 林ではジョウビタキやツグミなど、冬らしい鳥た  
 ちにたくさん出会えた。(廣田純平)

12月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会  
 ボランティア：9名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海  
 老原美夫、大坂幸男、志村佐治、藤掛保司、三ッ  
 矢正安

12月17日(日) さいたま市 三室地区  
 参加：55名 天気：晴

マガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ  
 ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ オオバ  
 ン トビ オオタカ コゲラ チョウゲンボウ  
 モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュ  
 ウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ  
 ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ  
 カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (30種) (番  
 外：ドバト) 強風が吹く中の探鳥会になった。  
 ダイサギやカワウも飛ぶのに必死。この時期には  
 よく姿を見せてくれるホオジロも草やぶの中でじ  
 っとしている様子。そんな状況でも30種観察でき  
 たのは参加者の皆様の眼があつてこそ。参加され  
 た皆様、本当にお疲れ様でした。(須崎 聡)

12月23日(土、祝) 年末講演会  
 参加：67名 場所：さいたま市民会館うらわ

年末恒例の講演会を実施した。第1部「映像で振  
 り返るこの1年」では4名の会員から寄せられた  
 画像等を鑑賞した。第2部では画家の神戸宇孝様  
 をお招きして、『鳥を描く楽しみ』のテーマで講演  
 していただいた。「探鳥会リーダーは「残念」と言  
 わない」「鳥を丁寧に、見るのではなく観る」とい  
 う言葉が印象に残った。また講師のアドバイスを  
 いただきながらカワセミのデッサンを参加者全員  
 で行い、大いに盛り上がった。講師の野鳥に対す  
 る心優しい人柄がうかがえる講演であった。第3  
 部の希望者による懇親会はワシントンホテル内の  
 中華料理店で行い、講師の神戸様を含めて28名が  
 出席した。(長野誠治)

12月24日(日) 幸手市 宇和田公園  
 参加：68人 天気：曇

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト シラ

コバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ  
 イカルチドリ コチドリ イソシギ ノスリ カ  
 ワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス  
 ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグ  
 イス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ  
 スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラ  
 ヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (33  
 種) (番外：ドバト) 朝からシラコバトが見当た  
 らず、心配の中スタート。それでも早々に何名か  
 が飛び立つところを確認。コースを変えてさらに  
 探してみると、かなたの電線にとまっていた！多  
 数ご参加の皆様には、ささやかなクリスマスプレ  
 ゼントになっただろうか。(佐野和宏)

1月4日(木) さいたま市 さぎ山記念公園  
 参加：61名 天気：晴

コジュケイ オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ  
 カルガモ オナガガモ トモエガモ コガモ ホ  
 シハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバ  
 ト カワウ アオサギ ダイサギ バン オオバ  
 ン ハイタカ オオタカ ノスリ カワセミ コ  
 ゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス  
 シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メ  
 ジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタ  
 キ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カ  
 ワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ  
 (42種) (番外：ドバト) 鳥合わせの結果42種は、  
 過去最高記録と同じ。この探鳥会では初めてのト  
 モエガモをゆっくり観察した。鳥合わせ中にはオ  
 オタカが頭上を舞い、1989年(昭和64年)から30年、  
 30回目の探鳥会を祝ってくれた!? (海老原美夫)

1月6日(土) 戸田市 彩湖 Beginner  
 参加：10名 天気：晴

オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ ハ  
 シビロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジ  
 ロ ホオジロガモ カイツブリ カンムリカイツ  
 ブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオ  
 バン ヒメアマツバメ タゲリ イカルチドリ  
 タシギ ユリカモメ セグロカモメ ノスリ カ  
 ワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス  
 ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグ  
 イス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ スズ  
 メ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シ  
 メ ホオジロ アオジ (43種) (番外：ドバト)

開始早々、目の前を飛び去るタシギ、続いてカワ  
 セミのお出迎え。上空ではノスリの旋回とヒメア  
 マツバメの乱舞。湖内を見ればホオジロガモに、  
 カモの群れに混ざって、なぜかタゲリが……。初  
 心者にはお腹いっぱい?の43種。(石塚敬二郎)

1月6日(土) 戸田市 彩湖  
 参加：22名 天気：晴

オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ ハ  
 シビロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジ  
 ロ ホオジロガモ カイツブリ カンムリカイツ  
 ブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ ア  
 オサギ オオバン ヒメアマツバメ タゲリ イ  
 カルチドリ タシギ ユリカモメ セグロカモメ  
 オオタカ ノスリ カワセミ アリスイ コゲラ  
 モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス  
 シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メ  
 ジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ  
 ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ  
 ホオジロ アオジ (46種) (番外：ドバト) スタ  
 ート直後に訪れる池は全面結氷。水辺ではタシギ  
 が左、右、左、右と足踏みをしていた。まるでヤ  
 マシギかトラツグミ。初めて見る行動だ。湖の西  
 岸を進むと、頭上を数羽のヒメアマツバメが飛び  
 交う。湖の最奥部の岸壁では、休息するカモの群  
 れの中にタゲリとイカルチドリを発見。いつもと  
 は一味違う彩湖であった。(小林みどり)

1月6日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園  
 参加：37名 天気：快晴

ヒドリガモ オナガガモ スズガモ ホオジロガ  
 モ ウミアイサ カンムリカイツブリ ハジロカ  
 イツブリ カワウ オオバン ダイゼン シロチ  
 ドリ ミヤコドリ ミユビシギ トウネン ハマ  
 シギ ユリカモメ ズグロカモメ カモメ セグ  
 ロカモメ ミサゴ ハシボソガラス ハシブトガ  
 ラス ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ  
 ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ  
 オオジュリン (31種) (番外：ドバト) 穏やかな  
 日和。徐々に潮が引いていく絶好の状況。比較的  
 近くに、ハマシギとシロチドリ。遠くにスズガモ  
 の群れ、その中にウミアイサ。ズグロカモメの登  
 場で盛り上がる。東側堤防への途中、オオジュリ  
 ン。堤防先端では、お目当てのミヤコドリの群れ。  
 乱舞するハマシギ。楽しかった！(菱沼一充)



● 当たり前のマナーです

田植えが終り、シギ・チドリなどが姿を見せる季節となりましたが、田んぼは農家の皆さんの大切な生産の場です。細い畔には決して踏み込まないでください。農作業最優先で行動してください。

農道を移動する農機を避けるため道端に寄る時は、三脚を縦にしてください。人は道端に寄っても、三脚を横にしていると、農機を運転する人には大変邪魔になるとのことです。

畑には入らないでください。

写真撮影のための餌付け、音声を流しての誘引などはしないでください。餌付けが明らかな写真は、本誌に掲載できません。

繁殖中の巣を撮影しないことは勿論、カメラを巣に向けていなくても、巣の近くに長時間居座ることはやめてください。

野鳥の会会員以外の方にも、争いにならないように気をつけながら、これらのことをお伝えください。

● 熊谷市内で普及部会議開催

通常さいたま市内の当会事務局 108 号室で開かれている普及部会議を、4 月 8 日(日)大麻生探鳥会終了後に、初めて熊谷市荒川公民館会議室で開催しました。出席者は 18 名。県北居住及び県北探鳥会担当の役員・リーダーから探鳥会運営等で感じていることや要望事項を聞き、全員で意見交換を行いました。今後も定期的実施していきたい(開催頻度及び次回日程は未定)と長野普及部長は話し

ています。会議終了後、熊谷駅近くの居酒屋で懇親会を行い、16 名が参加しました。

● ごめんなさいコーナー

前月号本欄会員数「3 月 1 日現在 1,632 人」は、「4 月 2 日現在 1,632 人」の誤りでした。

● 会員数は

5 月 1 日現在 1,625 人です。

活動と予定

● 4 月の活動

4 月 14 日(土) 5 月号校正 (海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、長嶋宏之、藤掛保司)。

4 月 15 日(日) 役員会 (司会: 吉原俊雄、各部の報告・県野生鳥獣保護管理団体補助事業手続き・その他)。

4 月 23 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け、『しらこぼと』5 月号を郵便局から発送 (海老原美夫)。

● 6 月の予定

6 月 2 日(土) 編集部会。普及部会。

6 月 9 日(土) 7 月号校正(午後 4 時から)。

6 月 16 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

6 月 17 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

出かける前に少し迷ったが、今年もヒアリの巣がたくさんある香港の水田地帯を歩いた。まず巣を見てもらったが日本から同行した仲間たちはあまり動じた様子はない。ヒアリの恐怖より鳥見優先。幸い、誰も刺されなかったが。頻繁に通っている現地の仲間たちはけっこう刺されているようだ。(山口)

しらこぼと 2018 年 6 月号(第 411 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル  
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org  
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社